

CheckPoint.156-836.v2024-04-14.q27

試験コード:	156-836
試験名称:	Check Point Certified Maestro Expert - R81 (CCME)
認定資格:	CheckPoint
無料問題数:	27
バージョン:	v2024-04-14
アクセス数:	748
ページビュー数:	270
https://www.jpnpdf.com/CheckPoint.156-836.v2024-04-14.q27-mondaishu.html	

最新問題: 1

パフォーマンス、場合によっては機能に影響を与えるシステム内のボトルネックを見つけるためにどのコマンドを使用しますか？

- A. asg stat -v
- B. asg 診断検証
- C. asg perf -v
- D. asg モニター

Answer: C ([メッセージを残す](#))

説明

asg perf -v コマンドは、パフォーマンス、場合によっては機能に影響を与えるシステム内のボトルネックを見つけるために使用されます。asg perf -v コマンドは、スループット、パケット レート、CPU 使用率、メモリ使用量など、セキュリティ グループ内のセキュリティ グループ モジュール (\$GM) のパフォーマンス統計を表示します。asg perf -v コマンドは、各 SGM の分散モードと修正率も表示します。これは、非対称ルーティングまたはロード バランシングに関する潜在的な問題を示す可能性があります。asg perf -v コマンドは、どの SGM が過負荷になっているのか、十分に活用されていないのか、または設定が間違っているのかを特定し、トラブルシューティングと最適化のための洞察を得るのに役立ちます。

参考文献

*Check Point Maestro R81.X 管理ガイド、67 ページ、`asg perf` セクション 1

*Check Point Maestro R81.X スタート ガイド、29 ページ、セクション `asg perf` 2

*Lari Luoma による Check Point Maestro Under the Hood のプレゼンテーション、スライド 26

1: <https://www.manualslib.com/manual/2031661/Check-Point-Maestro-R80-20sp.html> 2:

https://sc1.checkpoint.com/documents/R81/WebAdminGuides/EN/CP_R81_Maestro_GettingStarted/html_frame

:

<https://community.checkpoint.com/fyrhh23835/attachments/fyrhh23835/maestro/1191/1/Check%20Mates%20M>

最新問題: 2

主要な 4 つの手動診断ツールには次のものが含まれます。

asg diag verify、asg perf -v、orch_stat -all、および

A. asg 診断検証

B. cpinfo

C. hcp -r all

D. asg stat -v

Answer: D ([メッセージを残す](#))

説明

Asg stat -v」はコア診断ツールの一部であり、手動診断に貴重な統計と情報を提供します。

参考文献

*マエストロ エキスパート (CCME) コース - チェック ポイント ソフトウェア 3

*Check Point Maestro R81.X 管理ガイド 1

*Check Point Maestro R81.X スタート ガイド 2

3: <https://www.checkpoint.com/downloads/training/ccme-maestro-expert-r81.10-course.pdf> 1:

<https://www.manualslib.com/manual/2031661/Check-Point-Maestro-R80-20sp.html> 2:

https://sc1.checkpoint.com/documents/R81/WebAdminGuides/EN/CP_R81_Maestro_GettingStarted/html_frame

最新問題: 3

lldpctl の出力からは何が学べないのでしょうか？

A. アプライアンスのシリアル番号

B. アプライアンスのモデル

C. 配布モード

D. オーケストレーターの IP

Answer: C ([メッセージを残す](#))

説明

lldpctl コマンドは、Maestro Orchestrator のすべてのポートおよびセキュリティ グループ メンバー上のリンク 層検出プロトコル (LLDP) によって検出されたデバイスに関する情報を表示するツールです。LLDP は、デバイスがその ID、機能、構成に関する情報を交換できるようにするプロトコルです。

LLDP は、Maestro 環境のトポロジと接続を検出するのに役立ちます。lldpctl の出力には、接続されているデバイスのシリアル番号、アプライアンス モデル、およびオーケストレーターの IP が表示されますが、セキュリティ グループの分散モードは表示されません。分散モードは、Maestro Orchestrator がセキュリティ グループ メンバー間でトラフィックを分散する方法を決定するアルゴリズムです。分散モードを表示するには、asg Monitor や asg stat などの他のコマンドを使用できます。

参考文献

*Check Point Certified Maestro Expert (CCME) R81.X コースウェア、モジュール 4: コマンド ライン インターフェイスと WebUI の使用、レッスン 4.2: LLDP、4-9 ページ

*Check Point R81 Maestro 管理ガイド、第 3 章: セキュリティ グループ モジュールの使用、セクション: LLDP、3-9 ページ

*Check Point R81 Maestro 管理ガイド、第 2 章: Maestro セキュリティ グループ、セクション: トラフィック分散、2-7 ページ

*Maestro 基本セットアップ ドキュメント - ページ 2 - Check Point CheckMates

*ログおよび構成ファイル - Check Point ソフトウェア

最新問題: 4

_____ コマンドを使用すると、ユーザはすべての SGM 上の指定されたファイルを更新できます。

A. g_update_conf_file

B. g_all"

C. sed

D. g_cat

Answer: A ([メッセージを残す](#))

説明

g_update_conf_file コマンドは、ユーザーが現在のセキュリティ グループのすべてのセキュリティ グループメンバー上で指定されたファイルを更新できるようにするグローバル コマンドです。このコマンドは、ファイル名とパラメータと値のペアを引数として受け取り、それに応じてファイルを更新します。たとえば、g_update_conf_file fwkern.conf fwha_enable_arp=1 は、すべての SGM の fwkern.conf ファイルの fwha_enable_arp パラメータを追加または変更します。

参考文献

*Check Point Certified Maestro Expert (CCME) R81.X コースウェア、モジュール 4: コマンド ライン インターフェイスと WebUI の使用、レッスン 4.3: グローバル コマンド、4-12 ページ

*Check Point R81 Maestro 管理ガイド、第 4 章: コマンド ライン インターフェイスと WebUI の使用、セクション: グローバル コマンド、4-10 ページ

*セキュリティ グループ用の Maestro コマンド - Check Point CheckMates

最新問題: 5

同じセキュリティ グループ内に 2 つのアプライアンスがあります。そのうちの 1 つは 1 つのダウンリンクのみで接続され、もう 1 つは 2 つのダウンリンクで接続されます。NAT も VPN もないと仮定すると、Orchestrator によって行われるトラフィック分散の割合はどのくらいになるでしょうか？

A. 100%/0%

B. 33%/66%

C. 50%/50%

D. 66%/33%

Answer: ([解答を表示する](#))

説明

Orchestrator によって行われるトラフィック分散の割合は、セキュリティ グループに構成されているトラフィック分散モードによって異なります。ラウンド ロビン、ロード シェアリング、アクティブ/スタンバイ 1 の 3 つのモードがあります。

*ラウンド ロビン モードでは、ダウンリンクの数に関係なく、セキュリティ グループ内のすべてのアプライアンス間でトラフィックが均等に分散されます。このモードは、すべてのアプライアンスのパフォーマンスと容

量が同様であるシナリオに適しています。このモードでは、トラフィック分散の割合は、それぞれ 1 つと 2 つのダウンリンクを持つ 2 つのアプライアンスに対して 50%/50% になります。

*負荷共有モードは、各アプライアンスが持つダウンリンクの数に比例してトラフィックを分散します。このモードは、アプライアンスのパフォーマンスと容量が異なるシナリオに適しています。このモードでは、トラフィック分散の割合は、1 つと 2 つのダウンリンクを持つ 2 つのアプライアンスに対してそれぞれ 33%/66% になります。

*アクティブ/スタンバイ モードでは、一度に 1 つのアプライアンスのみにトラフィックが分散され、他のアプライアンスはスタンバイ モードになります。このモードは、高可用性が必要なシナリオに適しています。このモードでは、どのアプライアンスがアクティブであるかに応じて、トラフィック分散の割合は、それぞれ 1 つと 2 つのダウンリンクを持つ 2 つのアプライアンスに対して 100%/0% または 0%/100% になります。

質問ではトラフィック分散モードが指定されていないため、デフォルトのモードは Round Robin2 です。

したがって、トラフィック分散の割合は、それぞれ 1 つと 2 つのダウンリンクを持つ 2 つのアプライアンスで 50%/50% になります。

最新問題: 6

ダウンリンクインターフェイスは何に使用されますか？

- A. オーケストレーター間で接続するため
- B. オーケストレーターを顧客のインフラストラクチャに接続するため
- C. アプライアンスをオーケストレーターに接続するには
- D. アプライアンスを顧客のインフラストラクチャに接続するため

Answer: D ([メッセージを残す](#))

最新問題: 7

デュアル MHO 環境の利点の 1 つは何ですか？

- A. デュアル MHO は、スループットを少なくとも 50% 向上させることにより、Maestro 環境に冗長性を提供します。
- B. デュアル MHO により、SGM 間でより適切な同期が行われるようになります。
- C. デュアル MHO により、追加の SGM を SG に追加できます。
- D. デュアル MHO を使用して、スケーラビリティと冗長性の向上を実現できます。

。
Answer: D ([メッセージを残す](#))

説明

デュアル MHO 環境の利点の 1 つは、Maestro システムにスケーラビリティと冗長性の両方を提供できることです。スケーラビリティとは、需要の増大に応じてシステムがより多くのトラフィックと SGM を処理できることを意味し、冗長性とは、システムが機能やパフォーマンスを失うことなく 1 つ以上のコンポーネントの障害に耐えられることを意味します。デュアル MHO は、2 つのオーケストレーター間で負荷と管理タスクを分散し、相互にバックアップとフェイルオーバーのメカニズムを提供することで、これらの利点を実現できます。

参考文献

*マエストロ エキスパート (CCME) コース - チェック ポイント ソフトウェア、251 ページ

*CheckPoint 認定マエストロ エキスパート (CCME) - Skillzcafe、22 ページ

最新問題: 8

デュアル MHO 環境では、MHO1 と MHO2 はどの方法で SGM ラインカードに接続されますか？

- A. MHO1 と MHO2 は、同期ケーブルを使用して SGM に接続されています。
- B. MHO1 と MHO2 は、管理者が適切と考える任意の順序でラインカードに接続されます。
- C. MHO 1 は偶数番号のポートに接続され、MHO2 は奇数番号のポートに接続されます。
- D. MHO 1 は奇数番号のポートに接続され、MHO2 は偶数番号のポートに接続されます。

Answer: C ([メッセージを残す](#))

説明

デュアル MHO 環境で MHO1 と MHO2 を SGM ラインカードに接続する正しい方法は、MHO1 に偶数番号のポートを使用し、MHO2 に奇数番号のポートを使用することです。これは、各 SGM が各 MHO への 2 つのダウンリンクを持ち、ダウンリンクが異なる NIC およびリンク間でバランスがとれるようにするためです。これにより、SGM と MHO 間のトラフィック フローに冗長性と高可用性が提供されます。

参考文献

*R81.20 Maestro チートシート バージョン 7 - Check Point CheckMates、2 ページ

*マエストロ エキスパート (CCME) コース - チェック ポイント ソフトウェア、18 ページ

*マエストロ テクニカル トレーニング、モジュール 2: マエストロ セキュリティ グループと単一管理オブジェクト、スライド 16

最新問題: 9

補正レイヤーの仕組みとは何ですか？

- A. 特に NAT または VPN の場合、非対称トラフィックが適切に処理されるようにします。
- B. MHO によって使用される負荷分散メカニズム。
- C. 特定の接続の処理 SGM を決定する MHO の分散アルゴリズム。
- D. SGM にアクセス ポリシーを適用し、その適用の判定を SG 内の他の SGM に同期します。

Answer: A ([メッセージを残す](#))

説明

修正層メカニズムは、同じ接続からのパケットがマルチ アプライアンス システム内の同じセキュリティ グループ モジュール (SGM) によって処理されることを保証する Maestro コンポーネントです。これは、クライアントからサーバに送信されるパケットは、サーバからクライアントに送信される同じセッションのパケットとは異なる SGM に分散される可能性があるため、NAT または VPN が関係する場合に特に重要です。その後、修正層はパケットを正しい SGM に転送する必要があります。

参考文献:

*VSX ゲートウェイ上の NAT と修正レイヤー - Check Point Software1

*解決済み: Maestro クエリ - Check Point CheckMates

最新問題: 10

SMO マスターに障害が発生した場合はどうなりますか？

- A. 現在最も低い SGM ID を持つ次の SGM が SMO マスターの役割を引き継ぎます。

- B. SMO マスターに障害が発生した場合は、バックアップ SMO マスターが引き継ぎます。
- C. MHO でフェイルオーバーが発生し、トラフィックは引き続き通過します。
- D. セキュリティ グループはトラフィックを通過させなくなるため、問題は SMO マスターで解決する必要があります。

Answer: A ([メッセージを残す](#))

説明

これはネットワーク システムの冗長性の原則と一致しており、通常、障害が発生した場合は、次に利用可能な最小 ID を持つデバイスが管理の役割を引き継ぎます。

参考文献:

*マエストロ エキスパート (CCME) コース - チェック ポイント ソフトウェア、91 ページ

*Check Point Certified Maestro Expert (CCME) R81.X - グローバル ナレッジ、コース概要

最新問題: 11

sx_api_ports_dump.py コマンドの出力から何が分かるでしょうか？

- A. バックプレーンの結合に関する情報
- B. セキュリティグループに関する情報
- C. オーケストレーターのポートのステータス
- D. ダウンリンクポートのみにに関する情報

Answer: A ([メッセージを残す](#))

説明

参考文献

*R81.20 Maestro チートシート バージョン 7 - Check Point CheckMates、2 ページ

*[マエストロ エキスパート (CCME) コース - チェック ポイント ソフトウェア]、31 ページ

*[Check Point Certified Maestro Expert (CCME) R81.X - グローバル ナレッジ]、3 ページ

最新問題: 12

アップリンクインターフェイスは何に使用されますか？

- A. アプライアンス間で接続する場合
- B. アプライアンスを顧客のインフラストラクチャに接続するため
- C. オーケストレーターを顧客のインフラストラクチャに接続するため
- D. オーケストレーター間で接続するため

Answer: C ([メッセージを残す](#))

説明

アップリンク インターフェイスは、Maestro Hyperscale Orchestrator (MHO) をスイッチ、ルーター、ファイアウォールなどの顧客のネットワーク インフラストラクチャに接続するために使用されます。これらは、顧客のネットワークから MHO への管理および制御トラフィックの送受信にも使用されます。

参考文献:

*マエストロ エキスパート (CCME) コース - チェック ポイント ソフトウェア、41 ページ

*Check Point Certified Maestro Expert (CCME) R81.X - グローバル ナレッジ、コース概要

最新問題: 13

デュアルサイトとデュアルルームの違いは何ですか？

- A. デュアルルームは、同じ建物内のデュアルサイト展開の一種です。
- B. デュアルルームはアクティブ/スタンバイ、デュアルサイトはアクティブ/アクティブです
- C. デュアルルームは、すべてのアプライアンスが両方のオーケストレーターに接続される単一サイト展開です。
- D. それらは同じです

Answer: A ([メッセージを残す](#))

説明

参考文献

*[マエストロのよくある質問 (FAQ)]

*L2 スイッチを介した直接接続による Maestro デュアル サイト構成

*デュアル サイト シングル Maestro ハイパースケール オーケストレーター クラスタ (デュアル サイト シングル MHO 冗長性)

*チェックポイントマエストロエキスパート

最新問題: 14

Orchestrator MHO-140 の背面パネルにある管理ポートの目的は何ですか？

- A. セキュリティ グループの 1Gbps 接続
- B. 内部目的のために予約されています。使用されていません。
- C. Orchestrator 自体にアクセスするためのアウトオブバンド インターフェイス
- D. アップリンクとして使用される追加ポート

Answer: C ([メッセージを残す](#))

説明

Orchestrator MHO-140 の背面パネルにある管理ポートは、構成および管理の目的で Orchestrator 自体へのアクセスを提供する帯域外インターフェイスです。これらは、トラフィックの分散や、セキュリティ グループや外部ネットワークへの接続には使用されません。これらは、スイッチまたはルーターに接続できる 1Gbps RJ-45 ポートです。

参考文献

*Maestro Hyperscale Orchestrator データシート - Check Point Software1、2 ページ

*Quantum Maestro スタート ガイド - Check Point CheckMates2、4 ページ

最新問題: 15

アップグレード中、マルチバージョン クラスターリング (MVC) はサポートされていますか？

- A. いいえ。アップグレード中に ClusterXL が無効になるため、Maestro は MVC をサポートしません。
- B. いいえ、Maestro は MVC をサポートしていません。
- C. Maestro は、R80.40 以降、MVC または完全な接続アップグレードをサポートしています。
- D. はい、MVC は R81 以降 Maestro でサポートされています。

Answer: D ([メッセージを残す](#))

説明

マルチバージョン クラスタリング (MVC) は、異なるバージョンの Security Gateway を同じクラスタ内で動作させ、シームレスなフェイルオーバーとロード バランシングを提供する機能です。R81 以降、MVC は Maestro 環境でサポートされています。つまり、Maestro 環境のセキュリティ グループをダウンタイムなしでマルチバージョン クラスタとしてアップグレードできることになります。これには、最初に Maestro Orchestrator を R81.20 にアップグレードし、その後完全な接続と同期を維持しながらセキュリティ グループを 1 つずつ R81.20 にアップグレードする必要があります。

参考文献

*スケーラブルなプラットフォーム用の Check Point R81.20 - Check Point ソフトウェア

*L2 スイッチを介した直接接続による Maestro デュアル サイト構成

*チェックポイントマエストロエキスパート

最新問題: 16

R80.30SP 以前からアップグレードする場合、どのブレード構成ファイルを SG にバックアップする必要がありますか？

A. IPS 構成ファイル

B. fwkern.conf ファイル。

C. VPN 構成ファイル

D. Mobile Access 構成ファイル。

Answer: A ([メッセージを残す](#))

説明

参考文献

*Maestro R80.30SP ジャンボ ホットフィックス アキュムレータ、セクション: 重要な注意事項

*Check Point Maestro R80.30SP (Gaia 3.10 搭載)、セクション: 既知の制限事項

*Check Point SNMP MIB ファイル、セクション: 改訂履歴

有効な **156-836** 問題集は GoShiken.com が提供された合格しやすい 156-836 試験問題集！ GoShiken.com が最新の **156-836** 試験問題集を提供しています。GoShiken.com 156-836 試験問題は最新で、解答が正確でございます。最新の GoShiken.com 156-836 問題集をゲットする人はこちら:

<https://www.goshiken.com/CheckPoint/156-836-mondaishu.html> (**9030%OFF**問題集溶と正解付きで **30%w**

特別割引コード: **Freepdfdumps**)

最新問題: 17

SecureXL による処理のために、信頼できる非 F2F トラフィックを完全に高速化されたパスに強制的に入れるために使用される機能。

A. 高速アクセラレータ

B. ハイパー同期

C. レート制限

D. SecureXL

Answer: D (メッセージを残す)

説明

SecureXL は通常、非 F2F (対面) トラフィックを含む信頼できるトラフィックを、安全な高速パスを通じて高速化するために使用されます。

参考文献

*R80.20 以降の SecureXL 高速アクセラレータ (fw fast_accel) 1

*SecureXL Fast Accelerator - パケット フロー 2 を明確にする必要がある

1:

https://supportcenter.checkpoint.com/supportcenter/portal?eventSubmit_doGoviewsolutiondetails=&solutionid

2:

<https://community.checkpoint.com/t5/Security-Gateways/SecureXL-Fast-Accelerator-Need-to-clarify-packet-flo>

最新問題: 18

R81.10 ソフトウェア パッケージをインポートした後、MHO または SG をアップグレードできることを確認するために何を使用しますか？

A. HCP を実行します。テストの 1 つでは、MHO または SG のアップグレード資格ステータスがリストされません。

B. アップグレード前検証ツールを実行して、アップグレードが可能であることを確認します。

C. 何もしません。CPUSE は、アップグレード プロセス中に検証を実行して、パッケージに互換性があることを確認します。

D. パッケージはインポート プロセス中に検証され、その時点で警告またはエラーが表示されます。

Answer: B (メッセージを残す)

説明

Pre-Upgrade Verifier は、アップグレード プロセスに対する Maestro 環境の互換性と準備状況をチェックするツールです。現在のバージョン、ターゲット バージョン、ハードウェア要件、構成設定、および Maestro Orchestrator とセキュリティ グループのライセンスの有効性を検証します。また、アップグレードに影響を与える可能性のある潜在的な問題やリスクも特定し、それらを解決するための推奨事項を提供します。Pre-Upgrade Verifier は、R81.10 ソフトウェア パッケージをインポートする前、および実際のアップグレードを実行する前に実行する必要があります。

参考文献

*スケーラブルなプラットフォーム用の Check Point R81.10 - Check Point ソフトウェア

*チェックポイントマエストロエキスパート

最新問題: 19

Maestro 環境でサイト数を設定するために使用されるコマンドはどれですか？

A. マエストロ オーケストレーター サイト量を設定します

B. マエストロ構成オーケストレーターサイト量を設定します

C. マエストロ構成オーケストレーター サイト番号を設定します

D. マエストロ構成オーケストレーター サイト ID を設定します

Answer: B (メッセージを残す)

説明

このコマンドは、Maestro 環境内のサイトの数を 1 または 2 に設定するために使用されます。

サイトの数によって、セキュリティ グループとセキュリティ グループ メンバーのサイト同期構成とフェイルオーバー ポリシーが決まります。デフォルト値は 1 で、最初のセキュリティ グループが作成される前にのみ変更できます。

参考文献

*Maestro 基本セットアップ ドキュメント - ページ 2 - Check Point CheckMates

*スケーラブルなプラットフォーム用の Check Point R81.10 - Check Point ソフトウェア

*チェックポイントマエストロエキスパート

最新問題: 20

HyperSync はデュアル サイト環境でどのように機能しますか？

- A. アクティブな各接続には、2 番目のサイト (リモート サイト) にバックアップ接続があります。
- B. アクティブな各接続には、ローカル バックアップ (ローカル サイト上) と 2 番目のサイト (リモート サイト) 上の 2 番目のバックアップ接続があります。
- C. 各アクティブな接続には 2 つのローカル バックアップ (ローカル サイト上) と 2 番目のサイト (リモート サイト) 上の 3 番目のバックアップ接続があります。
- D. 各アクティブな接続には、ローカル バックアップ (ローカル サイト上) と各 MHO 上の 2 番目のバックアップ接続があります。

Answer: B ([メッセージを残す](#))

最新問題: 21

修正の場合、所有者に関する情報はどこに保存されますか？

- A. ターゲット アプライアンスの修正テーブル内
- B. 修正レイヤー フローに参加しているすべてのアプライアンスの接続テーブル内
- C. 修正レイヤー フローに参加しているすべてのアプライアンスの修正テーブル内
- D. ターゲット アプライアンスの接続テーブル内

Answer: ([解答を表示する](#)**)**

説明

修正レイヤーは、複数のクラスター メンバーを含むシステムでの非対称接続を処理するメカニズムです。これにより、フローが非対称であってもトラフィック フローを単一のクラスター メンバーで処理できるようになります¹。修正レイヤーは次のように機能します。

*パケットがクラスター メンバーに到着すると、そのメンバーが接続の所有者であるかどうかを確認されます。

「はい」の場合、パケットは通常どおり処理されます。そうでない場合は、修正テーブルをチェックして接続の所有者を見つけます。

*所有者が訂正テーブルで見つかった場合、パケットは訂正層ヘッダーを付けて所有者に転送されます。次に、所有者はパケットを処理し、宛先に送信する前に修正層ヘッダーを削除します。

*所有者が修正テーブルに見つからない場合、パケットは修正層ヘッダーを付けて Maestro Orchestrator (MHO) に転送されます。次に、MHO は独自の修正テーブルをチェックして、接続の所有者を見つけます。所有者が見つかった場合、MHO はコレクション層ヘッダーを付けてパケットを所有者に転送します。

所有者が見つからない場合、MHO はパケットをドロップし、送信元に ICMP エラー メッセージを送信します。
*補正テーブルは、新しい接続が確立されるか、既存の接続が終了されるたびに、MHO によって更新されます。MHO は、すべてのクラスタメンバーに修正層メッセージを送信して、各接続の所有者について通知します
2

最新問題: 22

Orchestrator MHO-140 ではどのような種類のトランシーバーがサポートされていますか？

- A. SFP、QSFP、QSFP28
- B. SFP+、SFP28、QSFP
- C. SFP、SFP+、SFP28
- D. SFP、SFP+、QSFP、QSFP28

Answer: C ([メッセージを残す](#))

説明

Maestro Hyperscale Orchestrator データシート 1 によると、Orchestrator MHO-140 は、SFP、SFP+、SFP28 のトランシーバー タイプをサポートしています。これらのトランシーバーは、Orchestrator の管理ポート、アップリンク ポート、およびダウンリンク ポートに使用できます。SFP トランシーバーは 1 GbE をサポートし、SFP + トランシーバーは 10 GbE をサポートし、SFP28 トランシーバーは 25 GbE をサポートします。

参考文献:

- *マエストロ エキスパート (CCME) コース - チェック ポイント ソフトウェア、42 ページ
- *Check Point Certified Maestro Expert (CCME) R81.X - グローバル ナレッジ、コース概要3
- *Maestro Hyperscale Orchestrator データシート - Check Point ソフトウェア、2 ページ

最新問題: 23

SG には管理ポートとアップリンク ポートが少なくともいくつ必要ですか？

- A. セキュリティ グループには 2 つのインターフェイスのうち 1 つだけが必要です。
- B. どちらも必要ありません。
- C. それぞれ 2 つ。
- D. それぞれ 1 つ。

Answer: ([解答を表示する](#))

説明

セキュリティ グループ (SG) が適切に機能するには、少なくとも 1 つの管理ポートと 1 つのアップリンク ポートが必要です。管理ポートは、SG を Maestro Hyperscale Orchestrator (MHO) および SmartConsole や SmartDomain Manager などの顧客の管理インフラストラクチャに接続するために使用されます。アップリンク ポートは、SG をスイッチ、ルーター、ファイアウォールなどの顧客のネットワーク インフラストラクチャに接続するために使用されます。アップリンク ポートは、顧客のネットワークから SG へのトラフィックの送受信にも使用されます。

参考文献:

- *マエストロ エキスパート (CCME) コース - チェック ポイント ソフトウェア、41 ページ
- *Check Point Certified Maestro Expert (CCME) R81.X - グローバル ナレッジ、コース概要

最新問題: 24

MHO-175 の場合、どのポートが管理ポートですか？

- A. ポート 49 ~ 55 は管理ポートです。
- B. ポート 1 ~ 4 は管理ポートです。
- C. ポート 27 ~ 47 は管理ポートです。
- D. ポート 5 ~ 26 は管理ポートです。

Answer: B ([メッセージを残す](#))

説明

Check Point Maestro HyperScale Orchestrator MHO-175 のポート マッピングに関するドキュメント 1 によると、ポート 1 ~ 4 は、MHO を SmartConsole や SmartDomain Manager などの顧客の管理インフラストラクチャに接続するために使用される管理ポートです。ポート 5 ~ 26 は、MHO をスイッチ、ルーター、ファイアウォールなどの顧客のネットワーク インフラストラクチャに接続するために使用されるアップリンク ポートです。ポート 27 -

47 は、MHO をセキュリティ グループ内のセキュリティ グループ モジュール (SGM) に接続するために使用されるダウンリンク ポートです。ポート 49 ~ 55 は、デュアル オーケストレータ環境で MHO を別の MHO に接続するために使用されるバックプレーン ポートです。

参考文献:

*マエストロ エキスパート (CCME) コース - チェック ポイント ソフトウェア、42 ページ

*Check Point Certified Maestro Expert (CCME) R81.X - グローバル ナレッジ、コース概要3

*Check Point Maestro HyperScale Orchestrator MHO-1751 のポート マッピング

最新問題: 25

デュアル サイト環境には複数の SG が存在できます。各 SG は 3 つの方法のいずれかで設定できます。これらの方法の 1 つではないものはどれですか？

- A. ロード バランサを介して 2 つの MHO に接続された 2 つの MHO。
- B. 同じサイトにある 2 つの MHO が、2 つの異なるスイッチを介してリモート サイトの MHO に接続されています。
- C. 同じサイトにある 2 つの MHO が、単一のスイッチを介してリモート サイトの MHO に接続されています。
- D. リモート サイト MHO 間の直接接続。

Answer: A ([メッセージを残す](#))

説明

これは、デュアル サイト環境でセキュリティ グループを構成する方法の 1 つではありません。これは、Maestro Orchestrator (MHO) 間のサイト間通信にロード バランサが必要またはサポートされていないためです。

MHO は、サイト同期ポートと VLAN を使用して、サイト間のリソースと接続を同期します。

デュアル サイト構成の有効なシナリオは次の 3 つです。

*リモート サイトのオーケストレータ間の直接接続: このシナリオでは、サイトごとに 1 つずつ、2 つのオーケストレータと、サイト同期ポートを使用したオーケストレータ間の直接接続が必要です。

*同じサイト上の 2 つのオーケストレーターは、2 つの異なるスイッチを介してリモート サイトのオーケストレーターに接続されます。このシナリオでは、サイトごとに 2 つずつ、計 4 つのオーケストレーターが必要であり、サイト同期ポートと QinQ および MTU をサポートする 2 つの外部スイッチを使用したオーケストレーター間の接続が必要です。インクリメント。

*同じサイト上の 2 つのオーケストレーターが 1 つのスイッチを介してリモート サイトのオーケストレーターに接続されます。このシナリオでは、サイトごとに 2 つずつ、計 4 つのオーケストレーターと、サイト同期ポートと QinQ および MTU をサポートする 1 つの外部スイッチを使用したオーケストレーター間の接続も必要です。インクリメント。

参考文献

*L2 スwitchを介した直接接続による Maestro デュアル サイト構成

*[デュアル サイト シングル Maestro ハイパースケール オーケストレーター クラスタ (デュアル サイト シングル MHO 冗長性)]

*[マエストロのよくある質問 (FAQ)]

最新問題: 26

23800 アプライアンスのスロット 1、2、および 3 には、2 つの 10Gbps デュアルポート NIC と 1 つの 40Gbps NIC が取り付けられています。2 つのオーケストレーターを使用する場合、ダウンリンクのオーケストレーター内冗長性のために、どのインターフェイスをオーケストレーター 1 に接続する必要がありますか？

- A. スロット 2 のポート 1 およびスロット 1 のポート 2
- B. この構成はサポートされていません
- C. 使用可能なポートの任意のペア
- D. スロット 1 のポート 1 およびスロット 1 のポート 2

Answer: D ([メッセージを残す](#))

説明

この構成は、オーケストレーターの冗長性のためにバランスのとれた冗長接続を提供する可能性があります。

参考文献

*Check Point Certified Maestro Expert (CCME) R81.X コースウェア、モジュール 3: デュアル オーケストレーター環境、レッスン 3.1: デュアル オーケストレーター環境の概要、3-7 ページ

*Check Point R81 Maestro 管理ガイド、第 3 章: セキュリティ グループ モジュールの使用、セクション: ダウンリンク §-8 ページ)

*Check Point 23800 アプライアンス データシート - Check Point ソフトウェア、2 ページ

最新問題: 27

オーケストレーターとは何ですか？

- A. ネットワークスイッチ
- B. コンピューティング リソース、ネットワーク リソース、ロード バランサー、ネットワーク スwitchのマネージャー
- C. ロードバランサ
- D. 上記のどれでもない

Answer: B ([メッセージを残す](#))

説明

Orchestrator は、セキュリティ グループ内のセキュリティ グループ モジュール (SGM) のコンピューティング リソースとネットワーク リソースを管理する Maestro コンポーネントです。また、ロード バランサおよびネットワーク スイッチとしても機能し、SGM 間でトラフィックを分散し、それらを顧客のネットワーク インフラストラクチャに接続します。

参考文献:

*マエストロ エキスパート (CCME) コース - チェック ポイント ソフトウェア、41 ページ

*Check Point Certified Maestro Expert (CCME) R81.X - グローバル ナレッジ、コース概要

Valid 156-836 Dumps shared by GoShiken.com for Helping Passing 156-836 Exam! GoShiken.com now offer the **newest 156-836 exam dumps**, the GoShiken.com 156-836 exam **questions have been updated** and **answers have been corrected** get the **newest** GoShiken.com 156-836 dumps with Test Engine here:

<https://www.goshiken.com/CheckPoint/156-836-mondaishu.html> (**90** Q&As Dumps, **30%OFF** Special

Discount: **Freepdfdumps**)